

ゲストティーチャー講演会

人の気持ちを聞き出す方法

10月8日に、1～3年生を対象として「ゲストティーチャーによる講演会」を開催し、講師として、スポーツ報知運動部デジタル編集部デスクの加藤弘士氏をお迎えしました。

本講演会は、社会の第一線で活躍している方から、働くことの意義やチャレンジすることの大切さ等をうかがうとともに、変化を求められる時代の中で、深い信頼関係を築き上げるために必要なことは何か等を学び、豊かな人生を切り開いていくためのヒントを得ることを目的としています。

＜熱いメッセージをたくさんいただきました＞

加藤氏には「人の気持ちを聞き出す方法」を演題に、厳しい取材競争を生き抜いた豊富な経験から得たことを踏まえて、ご講義いただきました。「言い訳は進歩の敵」「失敗と書いて『せいちょう』と読む」「まずは『打席に立つ』ことが大切。大谷翔平も三振しまくる」「あいさつができれば、まず社会人として合格」等の加藤氏からの熱いメッセージに、人の心を動かすものは何かを感じ、生徒は大きく心を揺さぶられていた様子でした。



「人の気持ちを聞き出す工夫」がたくさん詰まった講演会でした。
 素敵な笑顔をたくさん見ることができました。

＜生徒の感想＞

参加した生徒からは「人は熱意によって動かされるとありましたが、本日の講義は熱意そのものでした」「しっかり相手を向き合って『熱意』が伝わるように相手の気持ちを聞き出したいと思います」「高校3年間は人生の中で特別な時間と聞き、残りの高校生活をいつも以上に大切にしたいと思いました」等の感想が寄せられました。今回の講演会は、生徒たちの胸にしっかりと刻まれ、今後の人生の糧となりうる貴重な示唆を得ることができたようです。

No Challenge No Future !